

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



活 用 事 例



| 概 要 | |
|-------|---|
| 学 校 名 | 船橋市立薬円台南小学校 |
| 活用方法 | 校内研修で模擬授業を行い、教員自身が「広げ深める」過程を具体的に体感し、授業改善に活かす。 |
| 成 果 等 | <p>研究主題を「すべての子供が『わかる・できる』を目指して」と設定し、ユニバーサルデザインの視点から授業改善を行うことを目指して研究を進めた。今年度が3年目となる。夏季研修では、「広げ深める」過程に焦点をあて、教員が模擬授業をとおして実際に「広げ深める」過程を体験することにより、授業改善への理解と共有を図った。</p> <p>2学期に行った校内研究において、3学年理科「明かりをつけよう」では、児童各自に回路図をかかせる際に試行錯誤させた後、ペアで情報を共有する場を意図的に設定したところ、児童が互いにアイデアを共有し、共に考え合おうとする意欲的な姿が広がった。</p> <p>また、2学年音楽科「^{がっ}楽きでドレミ」では、「どのように学ぶのか」という見通しを子供たちにもたせることにより、学習のめあてが焦点化され、積極的に学び合う姿が高まっていた。</p> <p>「思考し、表現する力」とはどのようなことなのか、実際に教員自身が体感することで、日々の授業においても個々の教員が「主体的・対話的で深い学び」の視点で臨み、授業改善に活かすことができた。</p> |